

音楽科の主張

1 教科で育みたい人間像

5 音楽に出会い、言葉にならない感情が一瞬であふれ出すような、魂を深く揺さぶられる瞬間を体験することがある。それは、単純に美しいと感じた音に感じることもあれば、何気なく流れた一曲の歌詞とメロディが心の奥で重なり合い、涙が自然にあふれてくるような体験だ。音や音楽は、日常のあらゆる場面で当たり前

10 前に存在し、意識的にも無意識的にも影響を与えている。多様な音や音楽のよさを味わい、感動体験を重ねていくことで情操が育まれ、心が豊かになっていく。そして、そのような体験を重ねることで、人生が豊か

15 になっていくのではないだろうか。私たちは、このような音や音楽との出会いを通して、「**音や音楽のよさを分かち合う、心豊かな人**」を育みたいと考えている。

古来より人々の生活と音楽とは密接につながり発展してきた。昨今では、好きな歌手や好みの音楽をオンライン配信等で気軽に選び、楽しむことのできる時代へと変遷を遂げた。その一方で、個人の嗜好に偏った、音楽体験が不足した子どもがいることも考えられる。音楽をより味わうためには、一人の音楽の世界で完結

20 するのではなく、人と多様な音楽体験を共有することで、今まで気づいていなかった音楽の親しみ方が見いだせるだろう。文化や歴史などの背景や価値観の違いを理解し、互いの思いを受け止めることが、自分自身の価値観を広げていくことにつながるのではないだろうか。そうすることで、音や音楽のよさを分かち合い、仲間とともに音楽の見方や考え方を広げていくことができるのである。

音や音楽のよさや価値を大切にできる人は、時代や思想を越えて人の思いに寄り添い、互いの思いに共感

25 し合いながら世の中をつくっていくことができるのではないだろうか。以上のことから、音楽を通して心豊かな人が育まれていくことを願っている。

2 教科で願う学び

私たちが願う学びとは、「**音や音楽を感性と知性の両面からとらえ、仲間と語り合うことでよさを分かち**

25 **合い、味わうこと**」である。音や音楽は時間とともに消えてしまう瞬間の芸術であるからこそ知性や感性を豊かに働かせながら向き合っていく必要がある。

授業を通して、子どもたちは普段の生活では出会わないような曲や音楽文化に出会い、様々な感情をもつ

30 だろう。それは、これまでに培った感性を働かせて感じ取った音や音楽のよさへの感動であったり、初めて出会う音や音楽への驚きや疑問であったり違和感であるかもしれない。新たな音楽文化に触れたときに生まれる感情は、子どもの価値観を揺さぶるものであると考える。

このように感性を豊かにする音楽との出会いに加えて、題材のもつ魅力やそのよさや美しさをより深く味わうためには、感性だけでなく音楽を形づくっている要素の関連によって成り立っていることを理解することも大切である。音や音楽がもつ味わいの根拠には必ず要素同士の関連がある。その関連による変化や

35 効果をつかみ取ることで、音楽をより深く理解し、知性を働かせながら味わうことができるのである。また、人々が培ってきた文化やその歴史などの背景が深く関わり合っていることを理解することも、音や音楽を味わう上で大きな役割を果たしている。新たに出会った音楽は、人々の生活や歴史に根ざした出来事に関わっており、人々の熱い思いが具現化したものであることを実感してほしい。音や音楽は、文化をつくりあげてきた人々の思いが結実した芸術であることを感じ取ってほしい。

子どもたちは、仲間とともにそのよさや疑問、違和感に向き合い、鑑賞したり実際に歌ったり、演奏した

40 りしながら体験を重ねていく。活動を通して多様な感性や価値観に触れることで、子どもの価値観はさらに広がっていくだろう。仲間と共有することで根拠をもって音楽を批評し、そのよさについて語り合う子どもの姿も期待したい。そうすることで子どもの知性と感性が広がり、疑問や違和感は解決へと向かい、そのよさに気づくこともあるだろう。このようにして、仲間とともに感性と知性の両面から音や音楽を味わう体験を積み重ねることで、豊かな心が育まれていくと考えている。

45 このような学びを実現していくために、題材のもつ価値を吟味し、子どもが「この曲の雰囲気は素敵だな」「何でこう感じるのだろう」「自分もこんな音楽表現をしてみたい」など気づきや思いが生まれるような題材選定を行うことで、主体的に音や音楽と関わるきっかけをつくりたい。そうすることで、子どもたちが自然と音や音楽のよさを語り合えるようになることを願っている。感動を誰かと共有することは、言葉を超え

た深いレベルでの共感を生み、人間関係をより豊かにする。題材との出会いを通して、中学生の今しか感じることのできないみずみずしい感性で音楽にふれ、幅広い音楽体験を積み重ねることで、人生はより豊かになっていくだろう。音楽を通して、より豊かに人生を歩んでいく、心豊かな人が育まれることを願っている。